

ディズニーランド四半世紀

踊り場脱却への一手

—上—

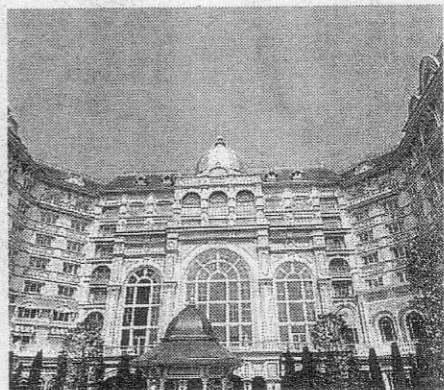
日本にテーマパーク産業 ランドの加賀見俊夫会長はを根付かせた東京ディズニーランド（TDL）、千葉県浦安市）が十五日、開業から三十五周年を迎える。日本人四人に一人を毎年動員する集客力は今も健在。だが少子化や娯楽多様化の壁も立ちほだかる。どんな一手を打ち出すのか。踊り場にある全国各地のテーマパークも注視している。

「あぐらかくな」

「あぐらをかいたら会社はつぶれる。次から次へと仕掛け、五十年、百年と生きる会社にしよう」。TDLを運営するオリエンタル

この十年で十八―三十九歳

TDL、滞在型で家族呼ぶ



滞在型の集客に力を入れる
(7月に開業する東京ディズニーランドホテル)

「脱舞浜」で顧客を全国に

は五二%へと十割減少。四十歳以上は一六%にほぼ倍増、十一歳以下も増えた。カップルや友人同士が減り、家族連れが増加した。

七月に開業する三つ目の直営ホテル「東京ディズニーランドホテル」。家族三、四人で宿泊できる部屋を増

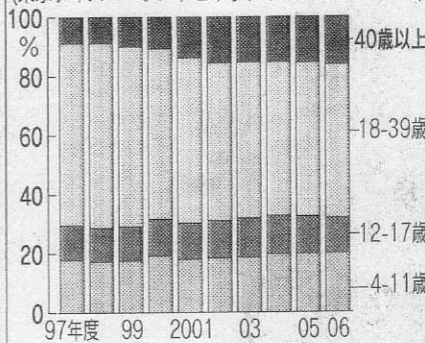
中高年、ファンに

九割超のリピーター率に安住してはいられない。中

は五二%へと十割減少。四十歳以上は一六%にほぼ倍増、十一歳以下も増えた。カップルや友人同士が減り、家族連れが増加した。

七月に開業する三つ目の直営ホテル「東京ディズニーランドホテル」。家族三、四人で宿泊できる部屋を増

中高年の入場者数が急増している
(東京ディズニーランドと東京ディズニーシーの合計)



一つはディズニー一辺倒からの脱却。十月開業の「シルク・ドゥ・ソレイユ」専用劇場に登場するのはディズニーとは無縁のサーカス集団。TDLを上回る九千八百円のチケットで九割の客席を埋める計画だ。

もう一つは「脱舞浜」。

TDLの所在地で代名詞でもある舞浜以外への進出を狙う。一〇年以降、屋内型テーマパークを首都圏以外に建設し顧客を全国に広げる。大阪や福岡などが誘致合戦を繰り広げる。

オリエンタルランドは二十五年を単なる節目ではなく、新しい成長の基盤づくりの年と位置づける。ただ景気減速で逆風は強まる一方。成功モデルの転換にもつながりかねない新戦略にはリスクも伴う。

テーマパーク四半世紀

踊り場脱却への一手

—下—

「わー、かわいい」。大 抑えながら入場者を増やし
阪市臨海地区のユニバーサ た。○六年度に初の最終黒
ル・スタジオ・ジャパン(U 字を達成、○七年度も増収
S J)で子供連れの家族が 増益になったもようだ。

甘い計画で苦戦

の可動式ステージで演じら れる「ファンタスティック
・ワールド」は映画を土台 としていない。虎の子供を
主人公にした新作だ。

二〇〇四年就任のグレン ・ガンペル社長は米ユニバ
ーサル・スタジオ出身だが、 ハリウッドへのこだわりは
捨てた。「子どもは大好き 原因の大半が地方自治体
りな投資が必要なアトラク ションでなくても喜んでく
れる」。○三年度まで年九 十億円程度だった設備投資
を三十億—四十億円程度に せた運営手法にかじを切り

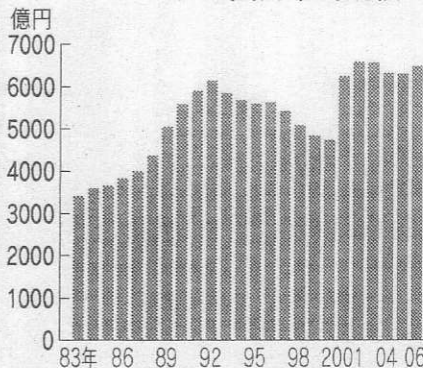
経済産業省によると国内
のテーマパークの数は○四
年時点で五十二カ所。八七
年の総合保養地域整備法
(リゾート法)施行後、「東
京ディズニーランド(TD
L)に追いつき追い越せ」
と全国に広がったが、九七
年に比べて二割減った。

USJ、こだわり捨て復権

ハウステンボスは「世界一の花のリゾー
ト」を目指す(長崎県佐世保市)



テーマパークの国内市場規模



(社会経済生産性本部調べ、遊園地などを含む)

地方施設、再生は「身の丈」で

直し、盛り返す動きも一部 看板施設「オーシャンド
ー」を出てきた。

投資会社のRHJインタ
ーナショナル(旧リップル
ウッド・ホールディングス)

地元資産と連携

すでに○六年度に営業黒 字化した、○七年度はド
ス・シーガイア・リゾート ム閉鎖による収支改善で
(宮崎市)。昨年九月、世 黒字幅が拡大する見込み。
界最大の屋内プールとして だが代替の目玉づくりは不
ギネスブックに認定された 可欠。今月一日にスターバ

看板施設「オーシャンド
ー」を閉鎖した。

ックスコーヒージャパンか
ら転身、社長兼最高経営責
任者に就任した山田哲氏は
宮崎県が近隣に整備した人
工ビーチに着目する。近く
に調理を楽しむトレーラー
やマリンスポーツ用具の貸
出し施設を整備すること
で、絞った投資で大きな相
乗効果を狙う。

春はチューリップ、夏は
バラ。○三年に破綻したハ
ウステンボス(佐世保市)
は娯楽施設だけでは成長が
難しいと判断、「世界一の
花のリゾート」として再生
を目指す。長崎市や陶磁器
産地の有田、伊万里など地
元の有力観光資産との連携
にも取り組み、「新しいリ
ゾートのあり方を検討す
る」(東園基宏社長)。

北九州市のスペースワー
ルドも地域密着路線への変
更で「継続的に利益が出る
経営に向けて光が見え始め
た」(戸田義和総支配人)。
だが少子化や景気変動の影
響はTDLより地方テーマ
パークの方が深刻。しかも
TDLは地方進出を着々と
狙う。限られたパイをどう
守り、いかに生き残るか。
地方テーマパークの戦いは
これからが正念場だ。